

令和3年度 第10回 役員会議事要旨

日 時：令和3年10月11日（月）

午後1時30分開会

午後2時04分閉会

場 所：事務局役員会議室

出席者：総長，山口理事，横田理事，吉見理事，増田理事，山本理事，菅原理事，村田理事，
梅原理事

欠席者：なし

（オブザーバー）

高橋監事，石川監事，秋田副学長，弼副学長，石森副学長，長谷山副学長

議事に先立ち，総長から資料に基づき，9月27日の令和3年度第9回役員会の議事要旨に係る確認があった。

議 事

議案1 新たなポジティブアクション制度について

山口理事から，資料に基づき，8月30日の役員会で了承された令和4年4月1日から実施予定である新たなポジティブアクション制度について，9月8日の部局長等連絡会議及び9月22日の理事会議での意見等を踏まえ，ポイント付与の方法を修正したこと等について説明があり，審議した結果了承された。

協議事項1 全学運用教員の措置について

山本理事から，資料に基づき，全学運用教員の措置について，令和4年4月1日付けで高等教育推進機構に全学運用教員総長措置の必要性が生じたこと，総長措置については，措置の必要性を検証の上，全学的な見地から真に必要なもののみ措置を行うこと等について説明があり，協議した結果了承され，10月20日の部局長等連絡会議で意見聴取を行うこととなった。

報告事項等1 令和4年度概算要求（財務省要求）について

吉見理事から，資料に基づき，令和4年度概算要求（財務省要求）について，文部科学省から一括計上（袋要求）とされていた一部の事業について伝達があったこと，今回伝達のあった主なものとして，「ミッション実現加速化経費（仮称）」のうち「教育研究組織改革分」については研究戦略室，スラブ・ユーラシア研究センター分として計2件，「共同利用・共同研究支援分」については全事業が要求されていること，「ミッション実現加速化経費（仮称）」の合計は依然として一括計上とされている区分があるため示されていないこと等について報告があった。